

第 32 回 アジアキリスト教教育基金総会

[特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金]

2021 年度社員総会



2021

第 32 回 アジアキリスト教教育基金 総会
特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金 2021 年度社員総会

日時 2021 年 5 月 30 日（日） 16 時－

場所 オンライン会議システム (Zoom) による開催

I. 議 事

1. 定足数の確認 事務局

2. 議長の選任

3. 第 1 号議案 2020 年度事業報告および活動計算報告承認の件

2020 年度事業報告 小田哲郎 事務局長

2020 年度活動計算書報告 河見 誠 理事

監事監査報告 桃井明男 監事

大江 浩 監事

4. 第 2 号議案 2021 年度事業計画および活動予算案承認の件

2021 年度事業計画案 小田哲郎 事務局長

2021 年度活動予算案 河見 誠 理事

5. 第 3 号議案 役員（理事・監事）選任の件

6. 第 4 号議案 評議員選任の件

7. 第 5 号議案 議事録署名人選出

II 報告等

1. 新しい ACEF のビジョン・ミッション ステイトメント

その他

2020年度事業報告

2020年4月1日から2021年3月31日

1 事業の成果

2020年度は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大による全ての活動停止に始まり、コロナ禍への対応とコロナ禍でも可能な形での活動の適応へと移っていった。創立30周年を迎えたが、これまで通りの活動ができない中、これまでの活動を見直し新たな活動を模索しながら、新たなビジョン・ミッションと中期計画を作り出すワークショップを開催する良い機会になったとも言える。

支援しているバングラデシュの6地区42校のBDP小学校は、バングラデシュ政府の判断により完全に休校の状態が続いたが、再開に向けての衛生施設の整備やマスクの配布を行った。職業訓練校については既存の2校に加え新しく1校の開校を支援した。またBDPが学校の保護者と教師向けマイクロファイナンス（小口融資）事業を開始するにあたり、能力強化研修と原資の支援を行った。

創立30周年を記念して記録集を発行、パネル展を開催した。記念行事はオンラインでの開催となり、それ以外の全てのイベントがオンラインでの開催となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用 34,287千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
アジアの開発途上国への教育支援事業	バングラデシュの初等教育支援	休校	バングラデシュ各地	200人	小学校45校の在籍者 約5,000人	17,268
	コロナ対策支援					5,078
	職業訓練	11月～	3地区	7人	職業訓練生51人	4,055
	マイクロファイナンス	10月～	バ各地	21人	メンバー1,784人	3,802
	教師研修実施	1,2月	カティラ	5人	BDP教師11人	373
国際協力への理解、参加を促進するための事業	学生スタディツアーの企画、運営(代替キャンプ)	3月	西那須野	4人	スタディツアー参加11人	271
	アジアの開発途上国に関する国際協力の理解についての講演会、セミナー、シンポジウムなどの開催事業	4月 5月 10月 11月 2月 3月	オンライン 東京	9人	国内の一般市民 セミナー・勉強会参加者 114人	1,700
アジアの開発途上国に関する普及、啓発事業	機関紙の発行 SNSでの情報発信	7,11月 通年	法人事務所	10人	会員・寄附者 一般市民 3,000人以上	1,507
	バングラデシュで作られた手工芸品の紹介、提供	通年	日本各地	9人	国内一般市民バザー参加者	233

事業費には23%の事業管理費を含む。

2020 年度事業報告

1. 概要

2020年度は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大による全ての活動停止に始まり、コロナ禍への対応とコロナ禍でも可能な形での活動の適応へと移っていきました。創立30周年を迎えましたが、準備を進めてきた記録集の編纂を通し、また岩波ジュニア新書『SDGs時代の国際協力』を発行する中で、これまでの歩みの中で築き上げてきたACEFとBDPの共働の結果としての資産・リソースを再確認し、また立ち止まって、これまでの活動を見直し新たな活動を模索することができました。

支援しているバングラデシュの6地区43校のBDP小学校は、バングラデシュ政府の判断により完全に休校の状態が続きましたが、再開に向けての衛生施設の整備やマスクの配布を行いました。職業訓練校については既存の2校に加え新しく1校の開校を支援しました。またBDPが学校の保護者と教師向けマイクロファイナンス（小口融資）事業を開始するにあたり、研修と原資の支援を行いました。

活動の柱の一つであるスタディツアーは2019年夏に4年ぶりに再開した後、また中止となり、このような世界的パンデミックの中で今後も同じように再開できる見通しは立ちません。そのことも意識して年度末にはユースキャンプを行い、そのプログラムの中でインターネットでのバングラデシュとの交流を持ちました。

毎年2回行っていたセミナーは当初から創立30周年記念行事に代わる予定でしたが、これもオンラインでの開催となり、それ以外にオンラインでのワークショップやセミナーを数多く実施しました。

特筆すべきは、それらの活動に大学のサービスラーニングを履修した学生が積極的に役割を担ってくれたことです。これまでのようなボランティアの受け入れは、ほとんどできませんでしたが、年間通して学生がSNSで広報を発信し、マンスリー・サポーターやクラウドファンディングなどファンドレイジングに積極的に関わり、例年のようなバザーが開催できない中で、きれいな手工芸品のカタログを作成して注文販売を可能にしてくれました。新たな若者のACEF運動への参画が生まれたのも、このコロナ禍によってこれまでのやり方での活動が制限されたからです。これまで30年間大切にしてきたスタディツアーに代わる、若者の育成の場を創り出すことへと踏み出す時だということを感じさせてくれました。

このようなコロナ禍にあっても、多くの会員・寄附者・団体、資金助成団体からの財政的支援によって活動が実施できたことを感謝します。

2. 会員組織

2020年度中の個人新入会員は6名（2019年度は34名）でしたが、過去3年間未納の会員も含め退会者が115名でしたので、その結果、個人会員数は111名の減となり2020年度末会員総数954名です。団体会員については4団体減の、24団体です。

2020年度末会員総数 24団体 954名

(社員会員 65名 + 一般会員 827名 + 学生会員 27名 + ジュニア会員 4名)

【参考】2015年度から5年間の動向と内訳は以下の通りです。

 団体会員 個人会員

2015年度末会員総数	27団体	1,367名	(社員会員64名+一般会員1,303名)
2016年度末会員総数	27団体	1,277名	(社員会員63名+一般会員1,166名+学生会員43名+ジュニア会員5名)
2017年度末会員総数	27団体	1,134名	(社員会員61名+一般会員1,024名+学生会員44名+ジュニア会員5名)
2018年度末会員総数	28団体	1,052名	(社員会員62名+一般会員929名+学生会員56名+ジュニア会員5名)
2019年度末会員総数	28団体	1,065名	(社員会員70名+一般会員928名+学生会員61名+ジュニア会員6名)

ACEF 団体会員一覧

1	日本基督教団奥沢教会
2	日本基督教団使徒教会
3	国際基督教大学教会
4	青山学院初等部
5	桜美林学園キリスト教センター
6	聖学院大学キリスト教センター
7	女子聖学院中学校高等学校
8	東洋英和女学院 中高部 生徒会
9	横浜英和学院
10	大阪友の会
11	岡山友の会
12	全国友の会 中央部
13	玉野友の会
14	東京第二友の会
15	広島友の会
16	武蔵野友の会
17	昭島幼稚園エイセフボランティアの会
18	聖学院大学附属みどり幼稚園
19	聖学院幼稚園
20	東洋英和幼稚園
21	東洋英和幼稚園 母の会
22	認定こども園 母の会
23	学校法人 百羊学園
24	山梨英和ダグラスこども園父母の会

3. アジアの開発途上国への教育支援事業

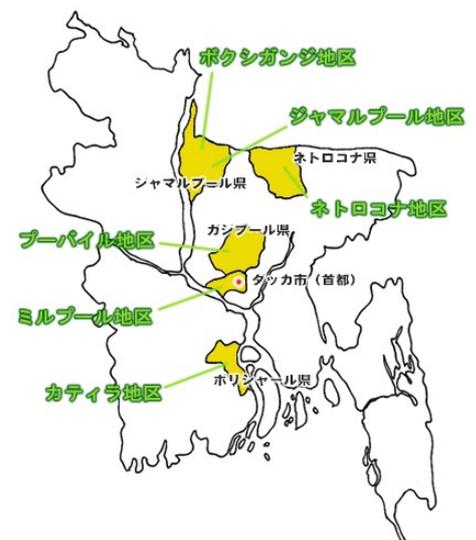
(1) BDP を通しての初等教育、職業訓練コースの支援

パートナー団体 BDP (Basic Development Partners) 活動報告 (BDP 年次報告書)

- 目標：無償で、幼児教育、初等教育、中等教育、初等健康教育、職業訓練教育を与えることにより、最小限の知識と技術を身に着け社会に貢献できる人材を育てること。
- 活動：
 1. 学校に行っていない子どもたちに教育の機会を提供する。また、様々な事情により学校に行けなくなってしまった子どもたちに再び教育の機会を提供する。
 2. 職業訓練をすることにより技術を身に着け、働くことのできる人材を育成する。中等教育に進めなかった子どもたちにも機会を提供する。
 3. 奨学金により、貧しい家庭の子どもたちが中等教育を受けられるようにする。
 4. 子どもたちが元気に健康な体を作れるよう栄養ビスケットを配布する。
 5. ヒ素対策として深井戸を掘り安全な水を供給する。
 6. ヒア・プロジェクト (聴覚障害児童の教育支援)
 7. マイクロ・ファイナンスプロジェクトで生計向上の支援を行う。
 8. 気候変動対策 (マングローブ植林)
 9. 洪水、サイクロン被害に遭われた被災者を支援する。
- 受益者：就学前教育—1,164名、初等教育—3,422名、職業訓練—72名、奨学金—35名、栄養プログラム (ビスケット)—567名、教師—179名 (女性164名、男性15名)

■初等教育：6地区43校 (5年生まで36校、それ以下7校)

- カティラ地区—6校 (3,3)
 - ミルプール地区—3校 (3,0)
 - プーバイル地区—9校 (9,0)
 - ネトロコナ地区5校 (5,0)
 - ボクシガンジ地区—5校 (1,4)
 - ジャマルプール地区—15校 (15,0)
- 2021年1月時点で幼稚園生から5年生まで4,586名の小学生が在籍。



初等教育 43校の運営と職業訓練校 3校の運営経費

(主に教師給与と学校維持費) 及び BDP の運営費のために以下の送金を行いました。

予算額	実行額	備考
130,000 USD	130,000 USD	緊急支援と助成金による事業委託費、指定寄付を除く
14,040,0000 円	13,897,680 円	

（２）新型コロナウイルス感染症への対応

バングラデシュ政府の方針により 2020 年 3 月 17 日より全ての教育機関は閉鎖となり、BDP の運営するノンフォーマルスクールも閉鎖が続いており 2020 年度は授業が行われませんでした。

１）緊急支援（マスクと石鹼の緊急配布）

2020 年 4 月、バングラデシュ全土でのロックダウンを受け生徒と家族を感染から守るために BDP 学校に通う全生徒に対してマスクと石鹼配布を行いました（合計マスク 1 万個、石鹼 1 万 5 千個の購入代金の緊急送金）。また、教師の雇用確保のために特別送金を行いました。[自己資金]



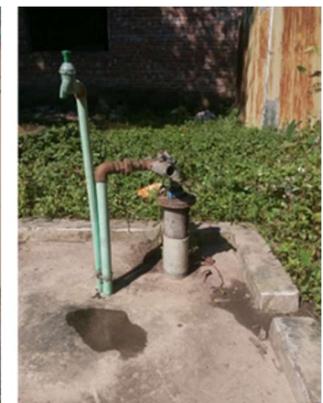
▲ダッカ・スラム地区の BDP 学校での配布

▲プーバイル地区の BDP 学校での配布

２）BDP 学校再開に向けた衛生改善緊急対策事業

BDP 学校再開に向けて、農村地区 38 校のうち手洗い場の貯水タンクと蛇口の設置を 22 校、男女別のトイレの設置を 21 校に、深井戸用電動ポンプの設置を 4 校に対して行いました。

[この事業のために公益財団法人庭野平和財団より助成金を受けました]



▲手洗い施設（タンク蛇口設置） ▲トイレの改修（男女別トイレ） ▲深井戸用電動ポンプ設置

3) マイクロファイナンス事業のためのコンピューター整備

後述の通り、マイクロファイナンス事業パイロット事業がコロナ禍によるBDP 学校生徒の家庭の経済状態が悪くなったために、6 地区で拡大実施することになり、各地区のBDP オフィスのPCを整備することとなりました。

[この事業のために公益財団法人愛恵福祉支援財団より緊急助成金を受けました]



▲6 地区のBDP 事務所にPC とプリンターを設置



▲カティラ地区のBDP 事務局での利用

(3) BDP マイクロファイナンス事業の支援

昨年度より今後のBDPの事業展開を考える上でマイクロファイナンス事業に挑戦したいとのBDPスタッフや理事長からの申し出があったため、パイロットプロジェクトとして試行する段階をACEFも支援することになりました。

BDP学校に1, 2グループ(シヨミティ)を作り、その下に5人からなる小グループを作って、グループ毎に毎週の少額貯金を集め、また連帯責任を負って融資を受けます。融資を受けるのは個人でそれを資金に養鶏や野菜作り、雑貨屋などの小規模なビジネスをはじめ、一か月後から一年をかけて返済していきます。現金収入(利益)は家族のため子どもの教育のために用いられることが期待されます。

コロナ禍によって多くの人が仕事に行けず現金収入が大きく減りましたので、この取り組みに参加を希望する人が多く、すでに93の女性グループができており、1784人が加わっています。11月から参加しているメンバーは毎週50タカ(1タカ=1.25円)貯蓄していますが、その貯蓄総額は228万タカにのぼります。1月から融資も始まり、すでに340万円の融資を行っています。

マイクロファイナンスで借りた資金を使って、スラム地区ではお茶屋や雑貨店の資金、ミシンを購入しての縫製の仕事などに使われています。

(詳細の報告はエイセフコミュニケーション No. 59, 60 参照)

[アジア生協協力基金の助成とSCF(学生キリスト教友愛会)の寄付を受けました]

4. 国際協力への理解、参加を促進するための事業

これまでは Bangladesh・スタディツアーと年2回のセミナーが国際協力理解・参加促進事業として実施されてきましたが、2020年度においては、コロナパンデミックのために海外渡航は不可能となり、セミナーについては創立記念事業のために通常の春・秋のセミナーは当初から計画されませんでした。

日本の若者の育成に関する事業として以下の各事業が実施されました。

(1) 学生インターン・サービラーニングの受け入れ

■2019年12月から受け入れが始まった、国際基督教大学（ICU）の授業プログラムのサービラーニングの学生を延べ13名受け入れ、年間を通して学生がACEFの活動に参加し、役割を担う中で学びました。

時期	人数	活動内容
春学期（4-7月）GE	5名	オンラインのみの活動（SNS 広報・ファンドレイジング、小学校の教材づくり）
秋学期（9-11月）GE	1名	オンラインと対面活動（ファンドレイジング・オンラインイベント）
秋・冬学期（9-2月）COM	6名	オンラインと対面活動（SNS 広報・ファンドレイジング、オンラインイベント）
春・夏学期（3-8月）COM	1名	オンライン活動（ファンドレイジング）

GE は一般教養科目の18時間の奉仕を含む短期。COM は活動日数30日の長期。



オンライン活動が中心でしたが11月27日に6名の学生が事務局に集まりました

■サービスラーニングの学生を得たことで SNS 広報を強化し、マンスリーサポーターキャンペーン（5-7 月）、マイクロファイナンスのクラウドファンディング（11 月）、第 2 回クラウドファンディング（3-4 月）を実施しました。

ファンドレイジング・キャンペーン	期間	支援者数	金額
コロナ禍後も誰一人教育から取り残さないために～バングラデシュのノンフォーマル小学校と職業訓練校を支援するマンスリーサポーターを大募集！	5 月 28 日～ 7 月 5 日	56 人	43,800 円/月
コロナ禍で影響を受けたバングラデシュの家庭の経済と子どもたちの学びをマイクロファイナンスで支えるためのスタート資金を募集中！	10 月 31 日～ 11 月 30 日	111 人・団体	1,204,506 円
バングラデシュ女性の起業を支援！子どもたちの学びにつなげる資金を援助したい！	3 月 15 日～ 4 月 30 日	-	-

■バングラデシュ教育開発セミナー

10 月 12 日 7 名参加

バングラデシュの教育と国際協力に関心の高いサービスラーニング参加者のために、JICA のバングラデシュ理数科教育プロジェクトを実施しているコンサルタント会社 PADECO の方々から、教育政策と公立学校教育の話聞く機会を設けました。

■ユースキャンプ@アジア学院

日時：3 月 28 日～30 日 場所：アジア学院（栃木県西那須野）

参加人数：学生 7 名 スタッフ 4 名

3 月末にサービスラーニングに ACEF 活動に参加した学生を中心に、バングラデシュ・スタディツアーの代替としてアジア学院でのユースキャンプを開催しました。アジア学院の畑での農作業やフードライフワークのワークショップに加え、バングラデシュの女性についてのセミナーや BDP とのオンライン交流会といったバーチャルスタディツアーの要素を取り入れる試みをしました。

（2）オンラインイベント

■高校生向けオンライン活動 ぼるてちやいユース・オンライン

- 1) オンラインインタビュー小野道子さん（ACEF 評議員、子ども保護専門家）
4 月 20 日 19 名参加

コロナ感染拡大により学校が休校・オンライン授業になった青山学院高等部ボランティア部を中心に他の高校の高校生にも声をかけて、オンラインで専門家にインタビューをする企画をしました。

2) オンラインワークショップ SDGs 4「教育」

5月5日 17名参加

ICUのサービスマーケティングと他大学の大学生6名がファシリテーターとなり青山学院、共愛学園、東洋英和女学院、ICU高校の高校生9名が参加して、「日本の教育課題」「バングラデシュの教育」「教育国際協力について」の3つのグループでグループディスカッションをしました。

3) 「みんなで学ぶ、難民のこと」野津美由紀さん（ACEF会員、難民支援協会）

7月19日 10名参加

大学生が企画、ファシリテーターとなって青山学院、共愛学園、東洋英和女学院の高校生が参加して、日本にいる難民と難民支援について、野津さんから話を聞きました。

■「ACEF x ハチドリ電力 環境問題に私たちができること」

8月25日 申込み30名

ハチドリ電力小野悠紀子さんとICUの学生チームで地球温暖化とバングラデシュへの影響について発表し、ハチドリ電力への切り替えで電力料金支払額の1%がACEFの寄付になる仕組みについて説明しました。

(3月末総寄付者数218人、ACEF指定寄付者5名)

■ACEF-YOUTH活動等

1) ACEF-YOUTH立ち上げイベント

4月からのオンラインイベントへの高校生・大学生の参加をACEFの若者の活動へと発展させるために、ACEF-YOUTHを若者の活動の場として創り出すことにしました。

10月28日に18名の大学生と高校生がオンラインでのACEF-YOUTH立ち上げイベントを開催し、ACEFの活動について知り、BDPスタッフと交流し、これから取り組みたい事について話し合いました。

2) バングラデシュ・グルメ旅 (カレーイベント)

2月7日 30名申し込み

ICUのサービスマーケティングの学生の企画で楽しくバングラデシュについて知ってもらうためのカレーを作って楽しむオンラインイベントを開催しました。

■クラウドファンディング関連イベント

1) マンスリーサポーターキャンペーン

5月28日から7月5日までのオンライン上でのマンスリーサポーターキャンペーン中に以下のオンラインイベントを実施しました。

- 6月7日 シェア祭り (SNS上での情報拡散のよびかけ)
- 6月28日 シェア祭り

2) 第1回クラウドファンディング

10月31日～11月30日に行った第1回目のクラウドファンディングでは、ICUサービスマーケティングの学生が中心となって以下のオンラインイベントを実施しました。

- 11月1日 キャンペーン立ち上げセミナー：マイクロファイナンスの説明
- 11月22日 キャンペーン期間最後の盛り上げ
- 12月4日 クラウドファンディング目標達成御礼イベント

3) 第2回クラウドファンディング

3月15日～4月30日の第2回目のクラウドファンディングでは、ジェンダー課題についてのオンラインセミナーシリーズを開催しました。

- 3月27日 「国際協力の現場からジェンダーを考える」 百生詩緒子さん
- 3月28日 「バングラデシュの女性と共に」 山内章子さん

(4月以降)

- 4月4日 「バングラデシュの女性について知ろう」 本間まり子さん
- 4月18日 「日本のジェンダー問題について」 和田芳子さん
- 4月25日 BDPと寄付者対談「つながりの輪をひろげよう」
- 4月26日 「国際協力キャリアセミナー」 都築昌子さん

(3) 尊厳教育ワークショップ

11月21日 参加者：会場 (SCF) 13名 オンライン5名

現在、「尊厳リーダーシップ」(原題 Leading with Dignity)を翻訳している評議員のジェフリー・メンセンディークさんより、ヒックスの提唱する「尊厳」について、ACEFの活動理念にもなりうる「尊厳教育」についてワークショップをしてもらいました。

尊厳とは何かをヒックスの著書から、また参加者の経験の中から考え寸劇にして表現しました。



(4) 学校・団体への講師派遣

関係する学校・団体からの講演依頼を受け、講師を派遣しました。今年度は高校での授業（明治学院高等学校、共愛学園高等学校）でもバングラデシュの現状についての授業と、SDGs をテーマとして総合的な探究の授業でのワークショップを行いました。（授業内容の詳細の報告はエイセフコミュニケーション no. 60 参照）

	月日	学校・団体/場所	講師
1	5/21, 22	女子聖学院中学・高等学校礼拝（動画）	小田哲郎事務局長
2	7/1	認定こども園母の会	小田哲郎事務局長
3	10/6, 7 10/22, 24	明治学院高等学校三年生聖書科授業（オンライン）	小田哲郎事務局長
4	10/21	明治学院高等学校キリスト教教育週間礼拝	小田哲郎事務局長
5	11/5	東洋英和女学院中学高等学校礼拝	小田哲郎事務局長
6	10/23	国際基督教大学サービスラーニング講演	小田哲郎事務局長
7	11 月末	青山学院大学系属浦和ルーテル学院小中高等学校アドベント礼拝（動画）	小田哲郎事務局長
8	12/14	山梨英和ダグラス幼稚園クリスマス礼拝	小田哲郎事務局長
9	1/29	柿ノ木坂教会ペテル幼稚園（オンライン）	小田哲郎事務局長
10	2/12, 19	共愛学園高等学校三年生 総合探究授業 SDGs ワークショップ（オンライン）	小田哲郎事務局長 2019ST 参加学生
11	2/17	東洋英和幼稚園教師研修会（オンライン）	小田哲郎事務局長

5. アジアの開発途上国に関する普及啓発事業

(1) 機関紙の発行、SNS での情報発信

■ACEF コミュニケーション発行：2回

No. 58 (7月20日発行) 2,000部

No. 59 (11月20日発行) 2,800部



<ACEF コミュニケーション No. 58>

<ACEF コミュニケーション No. 59>

* 感染拡大防止の観点から発送作業のためのボランティアを募ることが難しく、メール登録いただいた会員には PDF での配布とし、発送部数を削減しました。

■ACEF メールニュースの配信

昨年度に試験的に配信した HTML メールによるメールニュースを No. 1~No. 6 まで隔月で配信しました。また号外でイベントやクラウドファンディングキャンペーンの様子や寄付依頼を行いました。

■SNS での情報発信

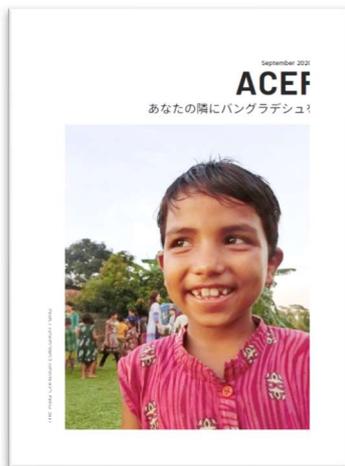
活動の多くを Facebook で報告し、Instagram と Twitter でファンドレイジングのキャンペーン期間を中心に情報発信して若い世代にも ACEF を知ってもらえるように努めました。より幅広い世代に使われている公式 LINE のアカウントも開設しました。これら SNS 広報を 2020 年 5 月以降、学生ボランティアが担っています。

(2) バングラデシュで作られた手工芸品の紹介、提供

2020 年度前半は例年行われている学校や教会での大規模なバザーが開催されず、またBDP職業訓練校も閉校が続く中で手工芸品も届かない状況でした。

9 月に学生ボランティアがバザー商品のカタログをデザインし印刷したところ、個人や教会からの注文が入り、小規模ながら以下の幼稚園・教会等でのバザーに手工芸品やクリスマスカードを加えてもらう事ができました。

認定こども園母の会、山梨英和ダグラス・プレストン・カートメルこども園
札幌桑園幼稚園、女子聖学院、東村山教会、由木キリスト教会、千歳船橋教会
東洋英和幼稚園虹の会、勝田台教会、共愛学園中学・高等学校、久我山教会
相愛幼稚園、めぐみの子幼稚園、浦和ルーテル学院、柿ノ木坂教会ベテル幼稚園
福島伊達教会、信濃村教会、友の会国際交流の会 (注文順)



▲ 学生がデザインし作成したカタログ

6. 創立 30 周年記念事業

(1) 創立 30 周年記録集『バングラデシュの子どもたちと共に』発行

全ページカラー 52 ページ 2,000 部 10 月 28 日発行

編集：創立 30 周年記念委員会

(森和博、井上儀子、小田哲郎、西村幹子、野村正宣、花島光男)

(2) 岩波ジュニア新書『SDGs 時代の国際協力 アジアで共に学校をつくる』

著者：西村幹子、小野道子、井上儀子 イラスト：徳田有希子

執筆のために BDP 学校卒業生のインタビュー実施（井上儀子 2020 年 3 月）。

スタディツアー参加者の座談会を 4 回開催（5 月 30 日、6 月 13 日午前午後）し、計 27 名が参加した。（学生ボランティアによる文字起こしの協力）



(3) 特別展『バングラデシュの子どもたちと共に』

期間：2021 年 3 月 8 日～4 月 5 日（その後延長）

会場：日本キリスト教会館 NCG 教育部「平和教育資料センター」

30 年の歩みのパネル展示、ACEF の活動紹介

（パネルデザインと展示は学生ボランティアによる）

(4) 岩波ジュニア新書発刊・エイセフ創立 30 周年記念シンポジウム

日時：2021 年 2 月 27 日 会場：オンライン（日本キリスト教会館から配信）

第 1 部：創立記念 理事長、船戸顧問挨拶、ゲストスピーチ：石川信克氏

第 2 部：岩波ジュニア新書発刊記念座談会 第 3 部：Zoom 交流会

（詳細の報告はエイセフコミュニケーション no. 60 参照）

[記録集印刷、パネル展、シンポジウム開催にウェスレー財団の助成を受けました]

7. 組織基盤強化・改革の取組み

(1) 新しいビジョンを描くワークショップ・中期計画策定

Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs の組織基盤強化に対する助成金を受けて2020年1月よりACEFの新しいビジョン・ミッションステートメントと中期計画の策定にかかるワークショップを開催しました。

日時、場所	内容	参加者
2020年2月8日 @キリスト教会館会議室	第1回「新しいACEFのビジョンを描くワークショップ」	25名
3月4-5日 @BDP プーバイル事務所	BDPのダッカ本部と6つの地方事務所からスタッフが集まり、2日間のワークショップを開催	21名（ダッカ6名、地方13名 ACEF2名）
3月30日 オンライン	第2回「新しいACEFのビジョンを描くワークショップ」	10名内オンライン参加者8名
4月29日 オンライン	第3回「新しいACEFのビジョンを描くワークショップ」	28名
5月23日 オンライン	第4回「新しいACEFのビジョンを描くワークショップ」	28名
2021年1月9, 11日 オンライン	ワークショップ① ビジョンの種	9日17名 11日22名
3月19-20日 @BDP プーバイル事務所	BDPのダッカ本部と6つの地方事務所からスタッフが集まり、2日間のワークショップを開催	19名（ダッカ6名、地方13名）
4月10日 オンライン	ワークショップ② 中期計画に向けてTOCを描く	

(2) グッドガバナンス認証の取得

非営利組織の評価を行っている一般財団法人非営利組織評価センター（JCNE）から、12月14日にグッドガバナンス認証団体に認証されました。



グッドガバナンス認証
20206 (0) 0027

(3) 働き方改革・テレワーク推進

2020年4月からフルタイム事務局員2名体制となりましたが、コロナ禍により緊急的にテレワークとなりました。テレワークを推進するために、東京しごと財団より「はじめてテレワーク助成金」を得て、就労規則の改訂とテレワーク規程・フレックスタイム導入のための制度整備を行いました。

(4) パワハラ規程・子どもと若者のセーフガーディングガイドライン整備

NPO法人も2022年3月までにパワハラ規程を整備する必要があり、研修に参加しワーキンググループを組織して規程案を検討しました。併せて学生ボランティアや現地の子どもをハラスメントから守るためのガイドラインの検討を始めました。

8. 理事会・評議員会開催記録

月日	理事会・評議員会	主な審議事項／協議事項	場所
2020年 4月18日	第1回定例理事会	2019年度決算の件 2020年度予算の件	オンライン (Zoom)
7月11日	第2回定例理事会	事務局の勤務体制について 組織改革の提案について	オンライン (Zoom)
7月25日	第1回評議員会	組織改革について 新しい活動の方向性について	オンライン (Zoom)
9月12日	第3回定例理事会	里子監事の後任人事と手続きの件 就業規則の変更について	オンライン (Zoom)
9月26日	臨時社員総会	監事の補欠選挙について	オンライン (Zoom)
11月14日	第4回定例理事会	創立30周年記念行事に関する件 理事・評議員の選出方法に関する件 中期計画に関する件	オンライン (Zoom)
12月27日	第1回臨時理事会	理事・評議員の選出方法に関する件	オンライン (Zoom)
2021年 1月10日	第2回評議員会	理事・評議員の選出方法に関する件	オンライン (Zoom)
2月13日	第5回定例理事会	次期総会の準備に関する件 フレックスタイム制度及びテレワーク 規程に関する件	オンライン (Zoom)
3月4日	臨時理事会	就業規則改正の件	書面開催

2019年度 ACEF 役員（理事・監事）顧問・評議員一覧

理事長 理事	荒谷 出	評議員	安部 由紀子	佐野 正子		
	安齋 昭子		天野 海走	ジェフリー・マンセンディーク		
	井上 儀子		上野 峻一	高石 孝子		
	小田 哲郎		江間 紗綾香	高崎 和子		
	河見 誠		大木 正人	塚本 潤一		
	田坂 興亜		小野 道子	堤 加壽美		
	西村 幹子		川上 咲野	野田 沢		
	野村 正宣		木越 憲輝	比企 敦子		
	朴 憲郁		岸 ひかり	山口 旬		
	花島 光男		古賀 博	米澤 元健		
	森 和博		佐藤 飛文			
	監事		桃井 明男	顧問	船戸 良隆	
	里子 有三郎 (-2020年9月)					
	大江浩(10月-)					

2020年度 活動計算書報告

貸借対照表		[税込] (単位: 円)	
特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金		2021年 3月31日 現在	
資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		前受金	502,000
普通預金 本会計	3,463,425	預り金	78,133
普通預金 物品	649,524	社会保険	(62,808)
現金 通常	58,937	所得税	(15,325)
現金 円	(40,361)	流動負債 計	580,133
現金 ドル	(16,528)	【固定負債】	
現金 タカ	(2,048)	退職給付引当金	768,000
現金 バザー	83,661	固定負債 計	768,000
現金 円	(5,300)	負債合計	1,348,133
現金 ドル	(77,133)	正味財産の部	
現金 タカ	(1,228)	【正味財産】	
現金 ST	2,405	前期繰越正味財産額	19,134,592
現金 タカ	(2,405)	当期正味財産増減額	△ 2,355,084
下振替 通常	12,145	正味財産 計	16,779,508
普通預金 ST	426,606	正味財産合計	16,779,508
普通預金 隅谷/和田基金	12,130,132		
普通預金 校舎積立1	212,890		
定期預金 退職積立	636,000		
現金・預金 計	17,675,725		
(売上債権)			
未収金	116,897		
売上債権 計	116,897		
(棚卸資産)			
棚卸資産	249,952		
棚卸資産 計	249,952		
流動資産合計	18,042,574		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品	85,067		
有形固定資産 計	85,067		
固定資産合計	85,067		
資産合計	18,127,641	負債及び正味財産合計	18,127,641
【貸借対照表の注記】			
※為替レート計算 (OANDA.com) 2021.3.31現在			
1US\$=110.19JPY			
1BDT=1.28JPY			

財 産 目 録		[税込] (単位: 円)	
特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金		2021年 3月31日 現在	
《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
普通預金 本会計	3,463,425		
普通預金 物品	649,524		
現金 通常	58,937		
現金 円	(40,361)		
現金 ドル	(16,528)		
現金 タカ	(2,048)		
現金 バザー	83,661		
現金 円	(5,300)		
現金 ドル	(77,133)		
現金 タカ	(1,228)		
現金 ST	2,405		
現金 タカ	(2,405)		
干振替 通常	12,145		
普通預金 ST	426,606		
普通預金 隅谷/和田基金	12,130,132		
普通預金 校舎積立1	212,890		
定期預金 退職積立	636,000		
現金・預金 計	17,675,725		
(売上債権)			
未 収 金	116,897		
売上債権 計	116,897		
(棚卸資産)			
棚卸 資産	249,952		
棚卸資産 計	249,952		
流動資産合計		18,042,574	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品	85,067		
有形固定資産 計	85,067		
固定資産合計		85,067	
資産の部 合計			18,127,641
《負債の部》			
【流動負債】			
前 受 金	502,000		
預 り 金	78,133		
社会保険	(62,808)		
所得税	(15,325)		
流動負債 計		580,133	
【固定負債】			
退職給付引当金	768,000		
固定負債 計		768,000	
負債の部 合計			1,348,133
正味財産			16,779,508

2020年度決算					2021.3.31現在		
特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金					(単位:円)		
	2019年度予算	2020年度予算	2020年度決算	予算比	備考(予算案)		
1	【経常収益】					1	
2	【受取会費】					2	
3	社員会員受取会費	550,000	540,000	577,500	107%		3
4	一般会員受取会費	7,000,000	5,760,000	5,932,500	103%		4
5	【受取寄附金】					5	
6	受取寄附金	16,650,000	15,000,000	16,019,284	107%		6
7	丹羽メモリアル	743,500	0	338,000		研修への指定寄付	7
8	事業寄附・クラウドファンディング	0	2,500,000	2,984,410	119%	次のキャンペーン入金5月	8
9	創立30周年記念募金	0	1,500,000	1,031,815	69%	印税分寄付	9
10	校舎建設・改修寄附	0	500,000	1,200,000	240%	山梨英和ダグラスこども園父母の	10
11	【受取助成金等】					11	
12	受取助成金	0	6,776,000	7,021,400	104%		12
13	【事業収益】					13	
14	理解参加促進事業	1,300,000	880,000	264,800	30%	春バーチャルST講師派遣	14
15	普及啓発事業	1,430,000	1,000,000	748,190	75%	バザー売上	15
16	【その他収益】					16	
17	受取 利息	0	0	152			17
18	為替差益	0	0	2,190			18
19	雑 収益	200,000	150,000	169,600	113%	古本募金等	19
20	経常収益 計	27,873,500	34,606,000	36,289,841	105%		20
21	【経常費用】					21	
22	【事業費】					22	
23	(人件費)					23	
24	給料 手当(事業)	1,720,000	2,940,000	2,940,000	100%	常勤(事務局長・事務局員)	24
25	アルバイト給料(事業)	1,720,000	774,400	620,190	80%	アルバイト1名	25
26	退職給付費用(事業)	132,000	252,000	252,000	100%	2名分	26
27	通 勤 費(事業)	42,215	82,520	37,653	46%	2名分	27
28	法定福利費(事業)	400,000	840,000	971,257	116%	2名分	28
29	人件費計	4,014,215	4,888,920	4,821,100	99%		29
30	(その他経費)					30	
31	売上 原価	350,000	300,000	140,164	47%	バザー機会激減、本購入50冊	31
32	資金協力(BDP送金)	14,430,000	14,040,000	13,897,680	99%	為替レート	32
33	研修費 (BDP招聘/現地研修)	250,000	860,000	0	0%		33
34	研修費 (ACEF職員研修)		120,000	179,000	149%	渡部職員研修分 助成金取得	34
35	BDP指定寄附送金	2,330,042	3,900,000	7,966,840	204%	コロナ対策、山梨英和ダグラス	35
36	業務委託費(助成金事業)	0	3,514,000	3,586,340	102%	助成金事業	36
37	バザー経費	100,000	90,000	47,371	53%	バザー機会減	37
38	印刷製本費(事業)	400,000	470,840	696,444	148%	創立記念誌の部数増	38
39	会 議 費(事業)	300,000	415,000	38,856	9%	創立記念行事	39
40	スタディツアー費	800,000	500,000	218,081	44%	春バーチャルスタディツアー	40
41	旅費交通費(事業)	500,000	1,300,000	11,100	1%	助成金事業渡航費なし	41
42	通信運搬費(事業)	800,000	500,000	516,869	103%	AC郵送減らしメール配信に	42
43	消耗品 費(事業)	180,000	380,000	349,208	92%	助成金事業 機材購入等	43
44	事務所家賃(事業)	1,100,000	1,237,236	1,248,566	101%	家賃値上げ¥103.103/月	44
45	賃借料(事業)	0	6,000	6,000	100%	地下倉庫	45
46	雑費	10,000	10,000	0	0%		46
47	諸 会 費(事業)	60,000	90,000	58,000	64%	JANIC、DEAR個人	47
48	支払手数料(事業)	160,000	450,000	403,780	90%	金融機関手数料・ソフトウェア	48
49	為替差損						49
50	減価償却費(事業)	0	93,573	102,080	109%	2019年度購入PC	50
51	その他経費計	21,770,042	28,276,649	29,466,379	104%		51
52	事業費 計	25,784,257	33,165,569	34,287,479	103%		52
53	【管理費】					53	
54	(人件費)					54	
55	給料 手当	1,720,000	2,940,000	2,940,000	100%	常勤(事務局長・事務局員)	55
56	退職給付費用	132,000	252,000	252,000	100%	2名分	56
57	通 勤 費	42,215	82,520	37,653	46%	2名分	57
58	法定福利費(管理)						58
59	福利厚生費	10,000	20,000	3,600	18%	健診	59
60	人件費計	1,904,215	3,294,520	3,233,253	98%		60
61	(その他経費)					61	
62	会 議 費	25,000	5,000	0	0%	総会、理事会(オンライン)	62
63	旅費交通費	1,000	10,000	4,060	41%	法務局等実績	63
64	消耗品 費	60,000	60,000	13,222	22%	テレワーク用機材	64
65	事務所家賃	360,000	360,000	360,000	100%	¥30,000/月	65
66	諸 会 費	85,000	85,000	67,875	80%	DCカード、日バ協会、社会保険協	66
67	慶 弔 費	15,000	10,000	0	0%		67
68	リース 料	700,000	700,000	658,368	94%	複合機、印刷機、電話機	68
69	租税 公課	4,000	4,000	10,150	254%		69
70	支払手数料	6,000	5,000	2,750	55%		70
71	支払報酬料	200,000	0	0			71
72	管理諸費	6,000	6,000	5,568	93%	税理士謝金	72
73	雑 費	10,000	10,000	2,200	22%		73
74	その他経費計	1,472,000	1,255,000	1,124,193	90%		74
75	管理費 計	3,376,215	4,549,520	4,357,446	96%		75
76	経常費用 計	29,160,472	37,715,089	38,644,925	102%		76
77	当期経常増減額	△ 1,286,972	△ 3,109,089	△ 2,355,084			77
78	【経常外収益】					78	
79	経常外収益 計					79	
80	【経常外費用】					80	
81	経常外費用 計		0	0		81	
82	税引前当期正味財産増減額	△ 1,286,972	△ 3,109,089	△ 2,355,084			82
83	経理区分振替額	0	0	0			83
84	当期正味財産増減額	△ 1,286,972	△ 3,109,089	△ 2,355,084			84
85	前期繰越正味財産額	19,006,898	19,134,592	19,134,592			85
86	次期繰越正味財産額	17,719,726	16,025,503	16,779,508			86

財務諸表の注記

特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金	2021年 3月31日 現在																																				
<p>【重要な会計方針】 財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。</p>																																					
<p>(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法 総平均法による原価法</p>																																					
<p>(2). 引当金の計上基準 退職給付引当金: 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいています。</p>																																					
<p>(3). 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。</p>																																					
<p>【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】</p>																																					
<p>●事業費と管理費の按分方法 各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当、退職給付費用、通勤費等については従事割合に基づき按分（50%, 50%）しています。</p>																																					
<p>●活動計算書には売上原価合計額のみが出ますが、これは期首棚卸高+仕入高-期末棚卸高=売上原価となっています。</p>																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">期首棚卸高</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">312,150</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>仕入高</td> <td style="text-align: right;">77,966</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>期末棚卸高</td> <td style="text-align: right;">249,952</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td style="text-align: right;">140,164</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	期首棚卸高	312,150			仕入高	77,966			期末棚卸高	249,952			売上原価	140,164																						
期首棚卸高	312,150																																				
仕入高	77,966																																				
期末棚卸高	249,952																																				
売上原価	140,164																																				
<p>●使途が限定される助成金の当該年度の支出状況及び次年度の支出予定</p>																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">助成金名</th> <th style="width: 15%;">入金額</th> <th style="width: 15%;">2020年度支出</th> <th style="width: 15%;">2021年度支出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア生協協力基金</td> <td style="text-align: right;">1,000,000</td> <td style="text-align: right;">1,000,000</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>日本国際協力財団</td> <td style="text-align: right;">1,986,000</td> <td style="text-align: right;">1,713,000</td> <td style="text-align: right;">273,000</td> </tr> <tr> <td>庭野平和財団</td> <td style="text-align: right;">1,000,000</td> <td style="text-align: right;">1,000,000</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>愛恵福祉支援財団</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>Panasonic NGOサポートファンド</td> <td style="text-align: right;">2,000,000</td> <td style="text-align: right;">100,000</td> <td style="text-align: right;">1,900,000</td> </tr> <tr> <td>外務省NGOステイブプログラム</td> <td style="text-align: right;">135,400</td> <td style="text-align: right;">135,400</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td>ウェスレー財団</td> <td style="text-align: right;">400,000</td> <td style="text-align: right;">400,000</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">7,021,400</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,848,400</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,173,000</td> </tr> </tbody> </table>	助成金名	入金額	2020年度支出	2021年度支出	アジア生協協力基金	1,000,000	1,000,000	0	日本国際協力財団	1,986,000	1,713,000	273,000	庭野平和財団	1,000,000	1,000,000	0	愛恵福祉支援財団	500,000	500,000	0	Panasonic NGOサポートファンド	2,000,000	100,000	1,900,000	外務省NGOステイブプログラム	135,400	135,400	0	ウェスレー財団	400,000	400,000	0		7,021,400	4,848,400	2,173,000
助成金名	入金額	2020年度支出	2021年度支出																																		
アジア生協協力基金	1,000,000	1,000,000	0																																		
日本国際協力財団	1,986,000	1,713,000	273,000																																		
庭野平和財団	1,000,000	1,000,000	0																																		
愛恵福祉支援財団	500,000	500,000	0																																		
Panasonic NGOサポートファンド	2,000,000	100,000	1,900,000																																		
外務省NGOステイブプログラム	135,400	135,400	0																																		
ウェスレー財団	400,000	400,000	0																																		
	7,021,400	4,848,400	2,173,000																																		

監 査 報 告 書

2021年4月13日

特定非営利活動法人
アジアキリスト教教育基金
理事長 荒谷 出 様

特定非営利活動法人 アジアキリスト教教育基金

監 事 桃井明男



監 事 大江 浩



私共は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金の2020年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の業務監査及び会計監査を4月13日及び14日にかけて実施した。

業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）に当たっては、理事会他の会議に出席し、必要と認める場合には質問を行い、意見を表明した。

会計監査（財産の状況に関する監査）に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問等を行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は、NPO法人会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。

ここに、私共は、上記期間に係わる事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が2021年3月31日における財産の状況を適正に表示しているものと認める。

以上

第2号議案 2021年度事業計画案および活動予算案 2021年度事業計画（案）

1. 概要

昨年度は、コロナ禍の中でも多くの助成金（8件）を受けて事業を実施することができました。また、国際基督教大学のサービスラーニングの学生・ボランティアの助けを得てのSNS広報やオンラインでの寄付拡大キャンペーンも行えました。今年度は青山学院大学のサービスラーニングも受け入れ、さらに若者の主体的な学びと育成をサポートしていきます。

日本もバングラデシュでも、コロナ感染の収束の見通しがつかず、BDP学校の閉鎖が続いています。しかし、昨年度からの組織強化・組織改革の話し合いの中で、バングラデシュでの活動についても見直す時期であるとの認識に至り、BDPとの対話の中で変革の道筋を付けようとしています。現在策定中のACEFの中期計画とBDPの5か年計画のすり合わせを両理事会の協議も含めて行います。

継続助成金が3件（マイクロファイナンス、職業訓練校の持続化、ACEFの組織強化）あり、また新たにウェスレー財団レガシー基金からバングラデシュのBDP学校の初等教育支援の変革のための助成金が採択され新しい活動に向けての資金的なバックアップが得られることとなりました。より良いパートナーシップのためにBDPとの対話を深めながら進めていきたいと思えます。

日本では新しいビジョン・ミッションにもキーワードとして「尊厳」を取り上げました。これを「尊厳教育」として広めていくためのワークショップと人材育成を具体的に進めていきたいと考えます。また、学校等でのSDGsの授業を通してバングラデシュの人々との交わりを行い、現地スタディツアーに代わるバーチャルスタディツアーの企画を検討していきます。

子どもと若者のセーフガーディングやパワハラ規程など、広く一般の方々からの支援を得るために信頼される組織にするための、必要な施策に理事・評議員でワーキンググループを組織して取り組んでいきたいと考えます。

会員が減少し、寄付も今後減少傾向にあることから、財務状況の改善を今年度の重点項目として、遺贈寄付と法人寄付を得るための戦略づくりをします。また、事務局の体制や働き方を考慮した人材育成についても中期計画に盛り込めるよう、理事会での議論を行います。

2. 2021年度事業計画（案）

- (1) バングラデシュ BDP 小学校等活動資金協力資金協力 : US\$130,000
- (2) BDO との新たなパートナーシップのための中期計画の策定
- (3) 広報活動：年次報告書の発行、メールニュース発行、ホームページのリニューアル
- (4) 遺贈寄付、法人寄付の獲得にむけた戦略づくり
- (5) 高校生・大学生の主体的な活動の支援
- (6) 「尊厳教育」を活動に取り入れるための準備
- (7) 助成金・クラウドファンด์による新規事業実施支援（マイクロファイナンス等）

採択済み助成金事業

助成団体・助成金	事業名（内容）	期 間	助成額
Panasonic NPO/NGO サポートファンド	Bangladeshにおける「質の高い教育をみんなに」実現のための現地 NGO との持続可能なパートナーシップ構築に向けた組織基盤強化事業（昨年度の継続、新しいビジョンの策定と中期計画策定）	2021年1月～12月	200万円
アジア生協協力基金	ノンフォーマル学校を通じたマイクロファイナンス・パイロットプロジェクトのための貯蓄・融資グループ組織化・組織強化事業（2年次、マイクロファイナンスのための組織強化）	2021年4月～2022年3月	100万円
日本国際協力財団 国際協力 NPO 助成	日バ共働職業教育・スタートアップ・プロジェクト（2年次、ジャマルプール職業訓練校・ダッカ PC コースの開設と持続化）	（2020年4月～2021年6月） 2021年7月～2022年6月	200万円 200万円
ウェスレー財団レガシー基金	ノンフォーマル教育支援の持続化、トランスフォーメーション促進事業（BDP の教育活動の持続化・変容促進）	2021年5月～2022年3月	300万円

3. 2021年度 年間スケジュール（案）

2021. 4. 17（土）	14:00～16:00 2021年度第1回定例理事会
2021. 4. 10（土）	ACEFの新しいビジョンを描くワークショップ（2021年第2回）
2021. 5月～7月	I C U、青山学院大学のサービスラーニングの学生受け入れ
2021. 5. 30（日）	A C E F 会員フォーラム
2021. 5. 30（日）	第32回ACEF年次総会・2021年度社員総会（16:00～）オンライン会議
2021. 6月	新しい委員会、ワーキンググループの組織化
2021. 6月末まで	NPO法人の「毎年の書類」所轄官庁へ提出
2021. 7月	NPO法人の認定更新手続き開始
2021. 7月	子どもと若者のセーフガーディング・リスク分析ワークショップ
2021. 7月中旬	2020年度次報告書発行
2021. 7月～8月	「尊厳教育」ワークショップ開催
2021. 7月中旬	2021年度第2回定例理事会/ 第1回評議員会
2021. 8月	バーチャルスタディツアー開催（予定）
2021. 9月中旬	2020年度第3回定例理事会
2021. 10月	中間監査
2021. 11月	2020年度第4回定例理事会
	クリスマス献金のお願い
.....	
2022. 1月上旬	（2022年春）スタディツアー申し込み締切（予定）
2022. 1月中旬	2021年度第2回評議員会
2022. 2月上旬	2021年度第5回定例理事会
2022. 3月	2021春スタディツアー実施（予定）
2022. 4月中旬	2022年度第1回定例理事会

2021年度 活動予算案

2021年度予算案				2021社員総会		
特定非営利活動法人アジアキリスト教教育基金				(単位:円)		
	2020年度予算	2020年度決算	2021年度予算	前年比	備考(予算案)	
1	【経常収益】					
2	【受取会費】	6,300,000	6,510,000	6,515,000	103%	
3	社員会員受取会費	540,000	577,500	615,000	114%	新規評議員を5名として追加
4	一般会員受取会費	5,760,000	5,932,500	5,900,000	102%	2020年度決算並み
5	【受取寄附金】	19,500,000	21,573,509	23,150,000	119%	
6	受取寄附金	15,000,000	16,019,284	17,350,000	116%	マンスリーサポーター増
7	丹羽メモリアル/遺贈寄付	0	338,000	3,000,000		遺贈寄付の働きかけ
8	事業寄附・クラウドファンディング	2,500,000	2,984,410	1,200,000	48%	クラウドファンディング2回
9	創立30周年記念募金	1,500,000	1,031,815	600,000	40%	3000円×200口
10	校舎建設・改修寄附	500,000	1,200,000	1,000,000	200%	
11	【受取助成金等】	6,776,000	7,021,400	8,000,000	118%	
12	受取助成金	6,776,000	7,021,400	8,000,000	118%	
13	【事業収益】	1,880,000	1,072,990	2,160,000	115%	
14	理解参加促進事業	880,000	264,800	1,000,000	114%	オンライン・イベント、講師派遣
15	普及啓発事業	1,000,000	748,190	1,160,000	116%	バザー売上・カレーイベント
16	【その他収益】	150,000	171,942	175,000	117%	
17	受取 利息	0	152	0		
18	為替差益	0	2,190	0		
19	雑 収 益	150,000	169,600	175,000	117%	古本募金等
20	経常収益 計	34,606,000	36,289,841	40,000,000	116%	
21	【経常費用】					
22	【事業費】					
23	(人件費)					
24	給料 手当(事業)	2,940,000	2,940,000	2,940,000	100%	常勤(事務局長・事務局員)
25	アルバイト給料(事業)	774,400	620,190	960,000	124%	パート複数名(1200円×800時間)
26	退職給付費用(事業)	252,000	252,000	252,000	100%	2名分
27	通 勤 費(事業)	82,520	37,653	40,000	48%	2名分
28	法定福利費(事業)	840,000	971,257	993,000	118%	2名分+パート1名
29	人件費計	4,888,920	4,821,100	5,185,000	106%	
30	(その他経費)					
31	売上 原価	300,000	140,164	450,000	150%	クリスマスカードやおうちバザー用
32	資金協力(BDP送金)	14,040,000	13,897,680	14,300,000	102%	130000USD×110円
33	研修費 (BDP招聘/現地研修)	860,000	0	260,000	30%	1名招聘
34	研修費 (ACEF職員研修)	120,000	179,000	145,000	121%	職員研修(パート含む)
35	BDP指定寄附送金	3,900,000	7,966,840	3,650,000	94%	
36	業務委託費(助成金事業)	3,514,000	3,586,340	7,000,000	199%	助成金事業
37	バザー経費	90,000	47,371	90,000	100%	バザー機会減
38	印刷製本費(事業)	470,840	696,444	370,000	79%	AC60, 年次報告書
39	会 議 費(事業)	415,000	38,856	50,000	12%	セミナー会場費
40	スタディツアー費	500,000	218,081	300,000	60%	バーチャルスタディツアー
41	旅費交通費(事業)	1,300,000	11,100	500,000	38%	バングラデシュ出張3回
42	通信運搬費(事業)	500,000	516,869	450,000	90%	AC60, 年次報告書
43	消耗品 費(事業)	380,000	349,208	300,000	79%	助成金事業 機材購入等
44	事務所家賃(事業)	1,237,236	1,248,566	1,237,236	100%	¥103,103/月
45	賃借料(事業)	6,000	6,000	6,000	100%	地下倉庫
46	雑費	10,000	0	5,000	50%	
47	諸 会 費(事業)	90,000	58,000	100,000	111%	JANIC、日バ協会、DEAR
48	支払手数料(事業)	450,000	403,780	430,000	96%	金融機関手数料・ソフトウェア
49	為替差損				#DIV/0!	
50	減価償却費(事業)	93,573	102,080	46,787	50%	2019年度購入PC
51	その他経費計	28,276,649	29,466,379	29,690,023	105%	
52	事業費 計	33,165,569	34,287,479	34,875,023	105%	
53	【管理費】					
54	(人件費)					
55	給料 手当	2,940,000	2,940,000	2,940,000	100%	常勤(事務局長・事務局員)
56	退職給付費用	252,000	252,000	252,000	100%	2名分
57	通 勤 費	82,520	37,653	40,000	48%	2名分
58	法定福利費(管理)					
59	福利厚生費	20,000	3,600	20,000	100%	健診
60	人件費計	3,294,520	3,233,253	3,252,000	99%	
61	(その他経費)					
62	会 議 費	5,000	0	5,000	100%	総会、理事会(オンライン)
63	旅費交通費	10,000	4,060	4,000	40%	実績
64	消耗品 費	60,000	13,222	100,000	167%	テレワーク機材追加
65	事務所家賃	360,000	360,000	360,000	100%	¥30,000/月
66	諸 会 費	85,000	67,875	50,000	59%	クレジットカード
67	慶 弔 費	10,000	0	5,000	50%	
68	リース 料	700,000	658,368	680,000	97%	複合機、印刷機、電話機
69	租税 公課	4,000	10,150	5,000	125%	
70	支払手数料	5,000	2,750	3,000	60%	
71	支払報酬料	0	0	5,000	#DIV/0!	認定にかかるNPO相談
72	管理諸費	6,000	5,568	16,000	267%	税理士謝金
73	雑 費	10,000	2,200	5,000	50%	
74	その他経費計	1,255,000	1,124,193	1,238,000	99%	
75	管理費 計	4,549,520	4,357,446	4,490,000	99%	
76	経常費用 計	37,715,089	38,644,925	39,365,023	104%	
77	当期経常増減額	△ 3,109,089	△ 2,355,084	634,977		
78	【経常外収益】					
79	経常外収益 計					
80	【経常外費用】					
81	経常外費用 計	0	0	0		
82	税引前当期正味財産増減額	△ 3,109,089	△ 2,355,084	634,977		
83	経理区分振替額	0	0	0		
84	当期正味財産増減額	△ 3,109,089	△ 2,355,084	634,977		
85	前期繰越正味財産額	19,134,592	19,194,592	16,779,508		
86	次期繰越正味財産額	16,025,503	16,779,508	17,414,485		

第3号議案 役員（理事・監事）選任の件

推薦委員会では、現任の理事・評議員からの推薦に基づき、以下の理事候補者推薦リストを準備し、2021年度第1回理事会はこれを総会に上程することを決定しました。

1. 理事候補者推薦リスト

理事長:荒谷 出(再任)	共愛学園中学高校宗教主任
副理事長:河見 誠(再任)	青山学院大学教授(青山学院女子短期大学学長)
安斎 昭子(再任)	全国友の会中央部
井上 儀子(再任)	前 ACEF 事務局長
小田 哲郎(再任)	ACEF 事務局長
小野 道子(新任、現評議員)	元ユニセフ職員、子どもの保護支援専門家
佐野 正子(新任、現評議員)	東京女子大学教授 宗教委員長
西村 幹子(再任)	国際基督教大学教授
野田 沢(新任、現評議員)	SCF(学生キリスト教友愛会)主事
野村 正宣(再任)	東洋英和女学院高等部教頭
森 和博(再任)	東京大学経営企画部国際戦略課アドバイザー

2. 監事候補者リスト

大江 浩(再任)	社会福祉法人興望館常務理事・副園長
桃井 明男(再任)	山梨英和学院監事

<顧問>

田坂 興亜	元アジア学院理事長
-------	-----------

船戸良隆顧問は 2021 年 3 月末をもって顧問を辞任されました。顧問は役員ではありませんので、理事会での任命であり社員総会での選任の対象外です。

第4号議案 評議員選任の件

推薦委員会では以下の評議員候補者推薦リストを準備し、2021年度第1回理事会はこれを総会に上程することを決定しました。

2. 評議員候補者推薦リスト

安部 由紀子(再任)	東京都政策企画局戦略広報担当課長(デジタル広報担当課長兼務)・慶応義塾大学メディアコミュニケーション研究所講師
天野 海走(再任)	横須賀学院中学高等学校聖書科教諭
上野 峻一(再任)	明治学院高等学校聖書科教諭
江間 紗綾香(再任)	日本基督教団世田谷平安教会牧師・附属幼稚園園長
大木 正人(再任)	日本基督教団南甲府教会主任担任教師
小田理一郎(新任)	有限会社 チェンジエージェント 代表取締役
川上 咲野(再任)	日本基督教団教務教師
木越 憲輝(再任)	聖学院小学校教諭
岸 ひかり(再任)	株式会社ディ・エフ・エフ
古賀 博(再任)	日本基督教団早稲田教会牧師
佐藤 飛文(再任)	明治学院東村山中学校高等学校教諭/SCF 理事
ジェフリー・マンゼンティック(再任)	桜美林大学准教授・チャプレン
関口弘美(新任・元評議員)	特定非営利活動法人ワールドビジョン・ジャパン職員
高石 孝子(再任)	広島友の会会員
高崎 和子(再任)	日本基督教団所沢みくに教会、教会員
塚本 潤一(再任)	日本キリスト教団芦屋浜教会主任担任教師
都築 昌子(新任)	アイ・シー・ネット株式会社コンサルティング事業本部 教育分野リードコンサルタント
徳田有希子(新任・元評議員)	関西学院高等部社会科教諭
堀口 聖子(新任)	山梨英和ダグラスこども園副園長
松本 周(新任・元評議員)	宮城学院女子大学准教授
皆川 宜宏(新任)	アトラシアン株式会社 ソリューションエンジニア
森田 智子(新任)	東京女子医科大学学生(5年生)
山内 章子(新任)	元 JOCS バングラデシュ派遣ワーカー
山口 旬(再任)	横須賀学院小学校教頭
湯本 浩之(新任)	宇都宮大学教授

新しいビジョン・ミッションステートメント

ACEFのビジョン（私たちの目指す世界）

一人ひとりの尊厳が大切にされて共に生きる喜びを感じられる社会を目指します。 <共生社会>

ACEFのミッション（使命）

アジアの人々とのパートナーシップ・共働から共に生きることの実践を模索する。

未来の共生社会をつくりだす子ども・若者の可能性を開くための教育活動を支援する。

バングラデシュと日本とが学びあい、大人と子ども・若者が共に育つ場をつくる



2021